

昭和二十七年二月十二日提出
質 問 第 八 号

旅客列車改善に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十七年二月十二日

提出者 高 田 弥 市

衆議院議長 林 讓 治 殿

旅客列車改善に関する質問主意書

政府において、最近旅客列車の整備改善、旅客へのサービス等を改善せられつつあることは、誠に喜びに堪えない。しかるに未だ未開発の東北、北海道方面に対しては、差別的待遇の傾向にあることは遺憾に堪えないところである。

一例を挙げれば、東海道線は、一等車その他装備の改善せられた客車が配車せられ、列車発車数もきわめて多いのに反し、東北、北海道の主要路線たる東北本線、常磐線には、一等車の配車なく、また車の装備も貧弱、列車発着数も不足であると不満の声を聞くところである。

政府においては、未開発の東北、北海道方面の開発のため、東北本線、常磐線の列車の増発、良好なる装備を有する客車の配置転換等すべきであると思うが、政府の見解如何。

右質問する。